

協力 相馬甲冑研究会

企画展

# 武士の

# 装い

とりどりのかたち



写真：廻り兜（当館蔵）、遊様極形兜（個人蔵）、黒漆塗紺糸威胴丸（個人蔵）、朱漆塗二枚胴具足（大谷眞壽氏蔵）、黒漆塗仏胴（相馬小高神社蔵）、唐人笠形兜（個人蔵）、豊頭形兜（個人蔵）、靈獸形兜（個人蔵）

令和元年（2019）6月29日（土）▶8月18日（日）

【開館時間】午前9時～午後4時45分（最終入館は午後4時まで） 【休館日】毎週月曜日（ただし、7月15日（祝）・29日（月）、8月12日（祝）は開館）

【観覧料】一般400円（350円） 高校生200円（150円） 小中学生100円（80円） （ ）は20名以上の団体割引料金です

南相馬市・飯館村に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です（手帳をご提示ください）。

企画展情報はこちら

## 南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194番地  
TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933  
URL <https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/museum/index.html>



# 甲冑には“とりどりのかたち”がある

武士が身につける甲冑<sup>かつゆう</sup>。鑑賞をより楽しむには、ある程度専門的な知識が必要と言われますが、それほど難しいものでもありません。

今回は、甲冑の鑑賞を楽しむためのポイントとして甲冑の“かたち”に着目し、見た目にもわかりやすい、意匠をこらした「変り兜<sup>かわ かぶと</sup>」をはじめ、使用する材料や技術・着用者の身分差などにみる、多種多様な甲冑のバリエーションを紹介します。「甲冑はむずかしい」と感じる方々も、甲冑がもつ“とりどりのかたち”の楽しさをぜひ味わってみてください。

黒漆塗五枚胴具足  
伝相馬家所用  
(個人蔵)



朱漆塗二枚胴具足  
(大谷真壽氏蔵)



霊獣形兜  
(個人蔵)



廻り兜  
(当館蔵)



総髪形兜  
(個人蔵)

黒漆塗畳胴具足  
(個人蔵)



黒漆塗仏胴具足 (御貸具足)  
(相馬小高神社蔵)



『野馬追備列絵巻』(当館蔵)